



大平洋金属株式会社  
2017年3月期 中間決算説明会

2016年11月18日

お問合せ先:総務部(IR担当) 03-3201-6681

ホームページ: <http://www.pacific-metals.co.jp>

<b>I. 17.3期 中間決算</b>	
1. 中間決算実績	4
2. 連結経常損益分析	5
<b>II. ニッケル需給について</b>	
1. LMEニッケル価格・ニッケル在庫数量の推移	7
2. 世界のステンレス生産とニッケル需給見通し	8
3. 地域別ステンレス生産・ニッケル需給見通し	9
4. 中国NPI生産の動向	10
<b>III. 17.3期 通期見通し</b>	
1. 通期決算見通し	12
2. 国別販売見通し	13
3. 連結経常損益分析	14
<b>IV. 経営課題への取り組み</b>	
1. 中期経営計画「PAMCO-30」の活動状況	16
2. 鉾石長期購入契約・調達割合の動向	19
<b>【参考データ】中期経営計画「PAMCO-30」と実績値(見通し値)との比較</b>	20

# I 17.3期 中間決算

## 1. 中間決算実績

## 【概要】

(単位:百万円、%)

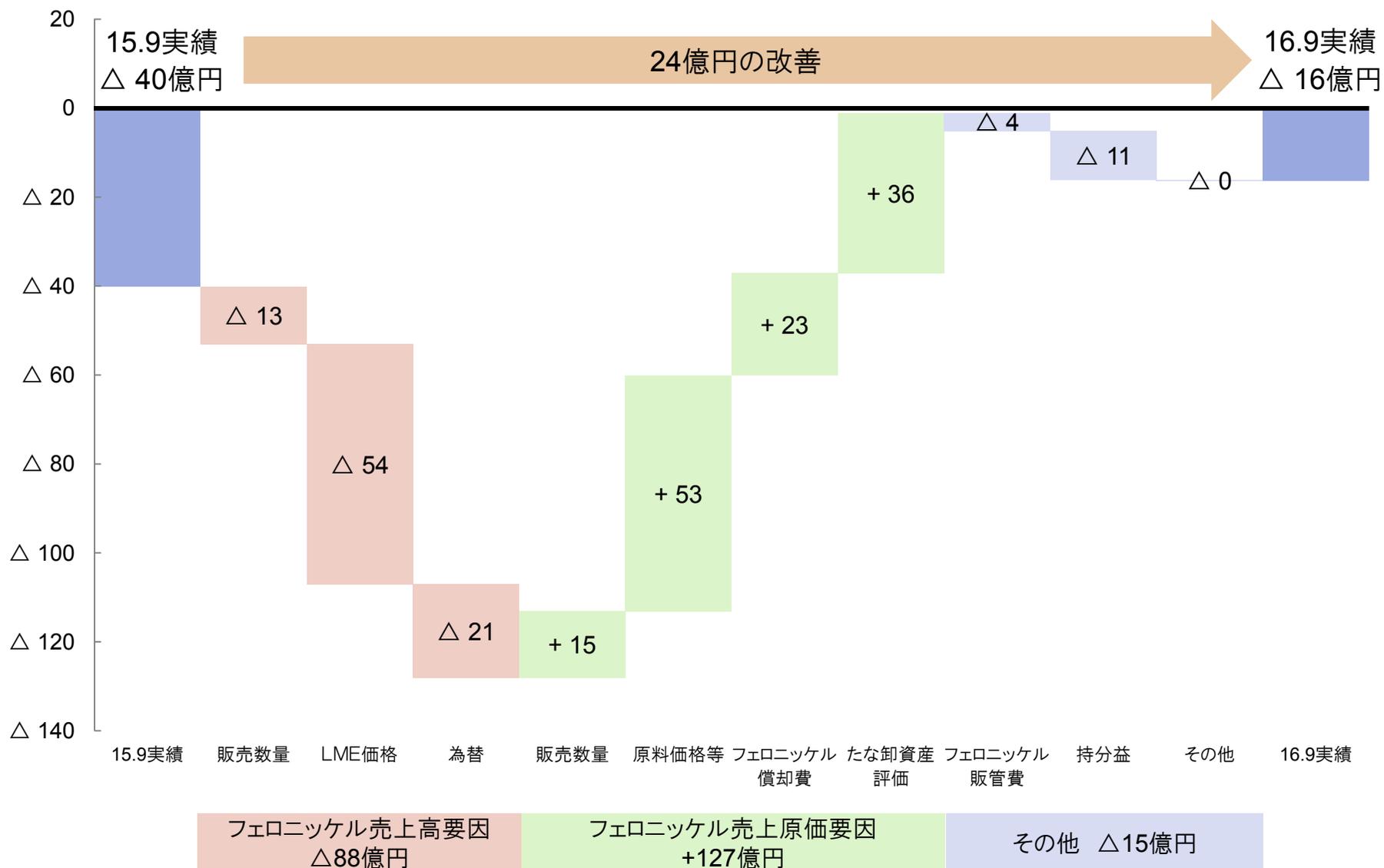
	15.9実績		16.9予想 (8/10発表)		16.9実績		対 前年同期比	対 8/10発表 予想比
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率		
売上高	27,520	—	17,507	—	17,589	—	△36.1	0.5
営業利益	△6,186	△22.5	△2,904	△16.6	△2,404	△13.7	—	—
経常利益	△4,014	△14.6	△2,243	△12.8	△1,629	△9.3	—	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△4,456	△16.2	△2,835	△16.1	△2,144	△12.2	—	—
(投資額)	282	—	—	—	78	—	△72.3	—
(減価償却費)	2,816	—	—	—	189	—	△93.3	—

## 【ニッケル事業】

	15.9実績	16.9予想 (8/10発表)	16.9実績	対 前年同期比 (単位:%)	対 8/10発表 予想比 (単位:%)
生産数量(Niトン)	18,357	17,115	16,425	△10.5	△4.0
販売数量(Niトン)	17,347	16,586	16,447	△5.2	△0.8
適用LME(\$ / トン)	12,302	8,774	9,193	△25.3	4.8
[適用LME(\$ / lb)]	[ 5.58 ]	[ 3.98 ]	[ 4.17 ]		
適用為替(¥ / \$)	120.91	109.70	107.18	△11.4	△2.3

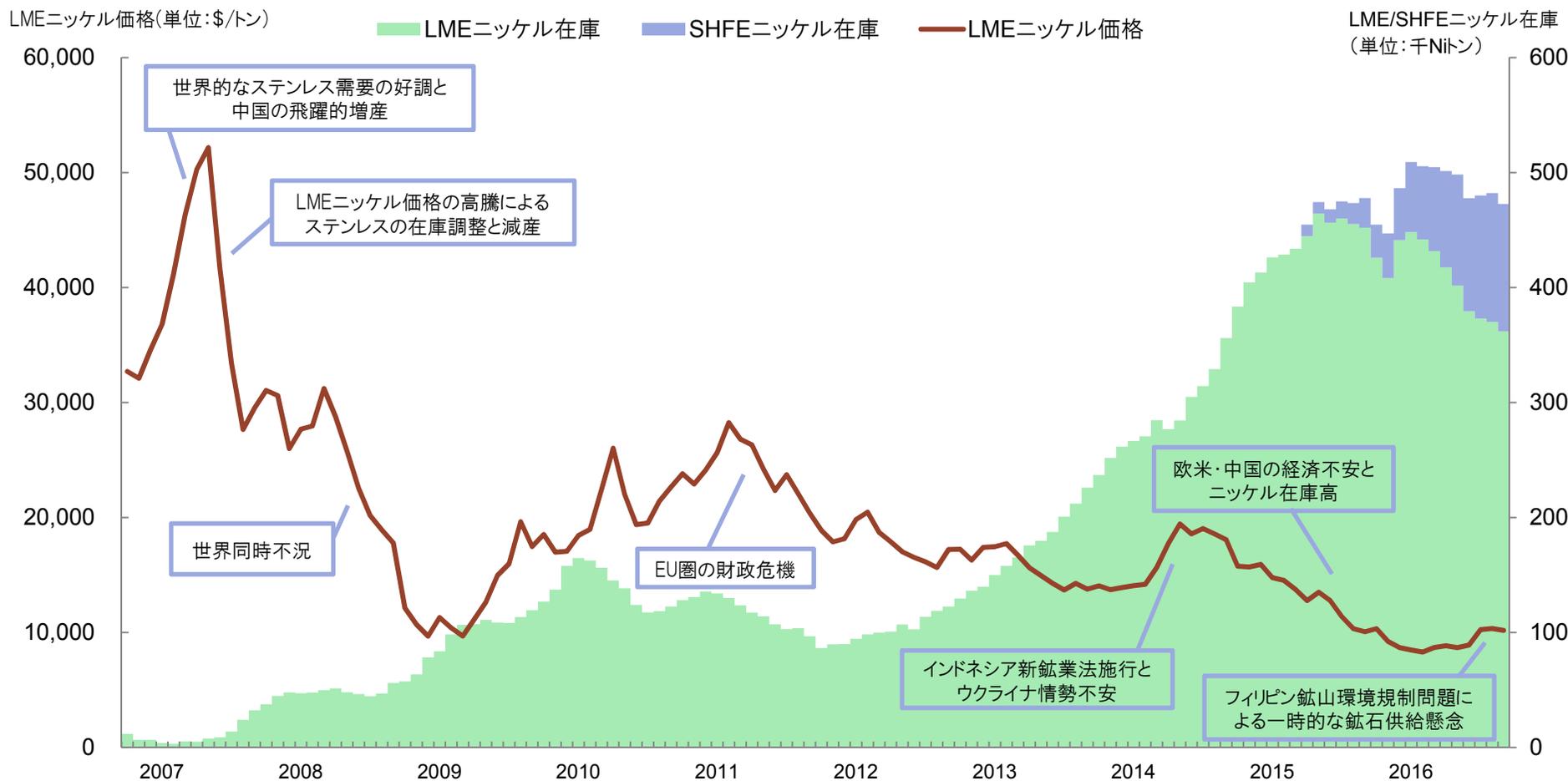
## 2. 連結経常損益分析

(単位: 億円)



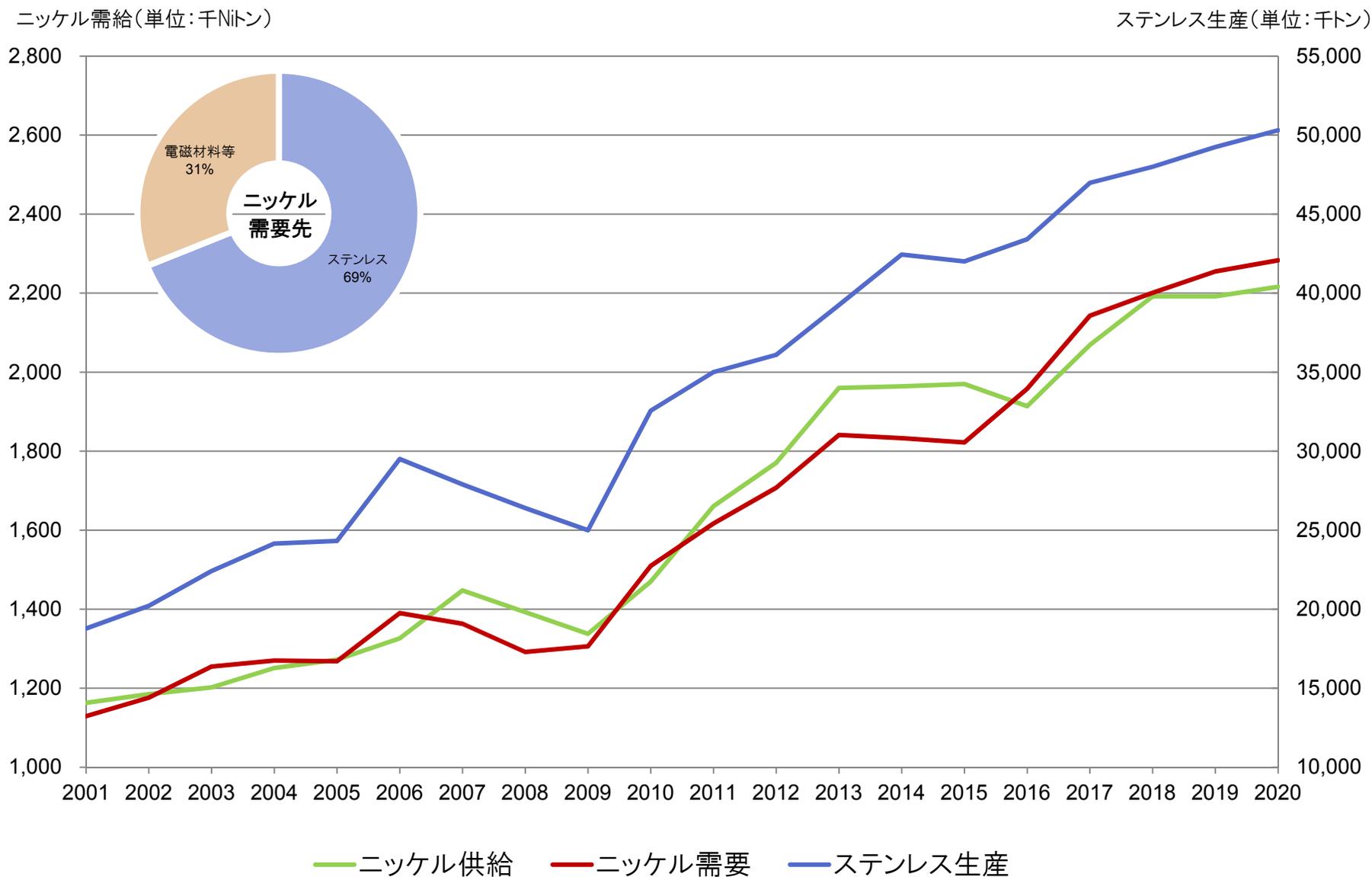
## Ⅱ ニッケル需給について

## 1. LMEニッケル価格・ニッケル在庫数量の推移



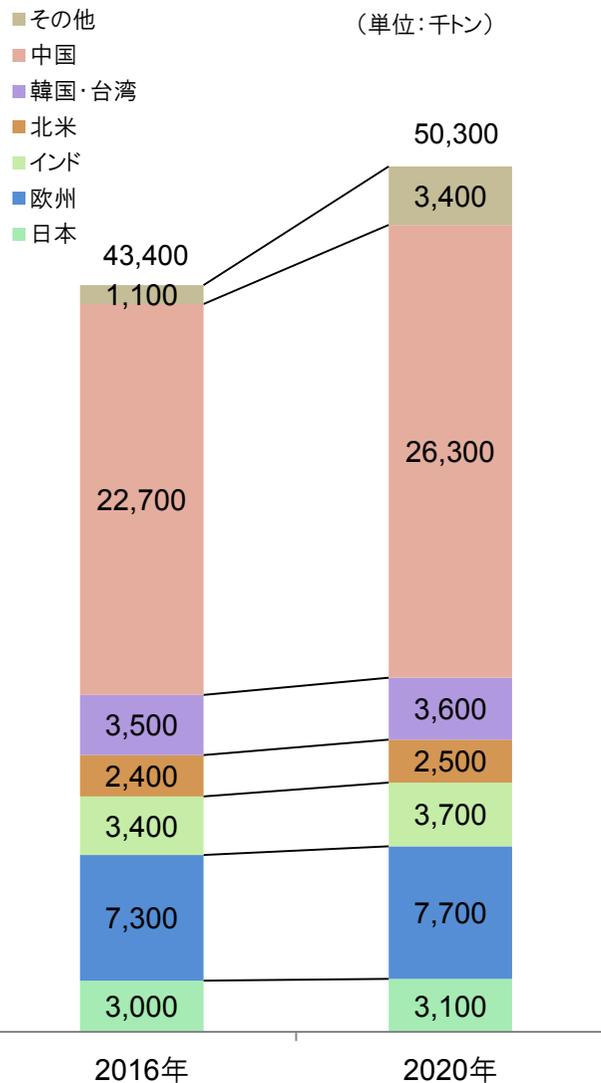
業績の推移	07.3	08.3	09.3	10.3	11.3	12.3	13.3	14.3	15.3	16.3	業績の推移
売上高 (百万円)	100,283	116,420	72,976	58,490	74,786	48,330	58,489	56,408	61,225	47,649	売上高 (百万円)
営業利益 (百万円)	44,455	52,251	16,169	11,774	18,495	154	2,168	△4,080	△7,788	△15,358	営業利益 (百万円)

## 2. 世界のステンレス生産とニッケル需給見通し

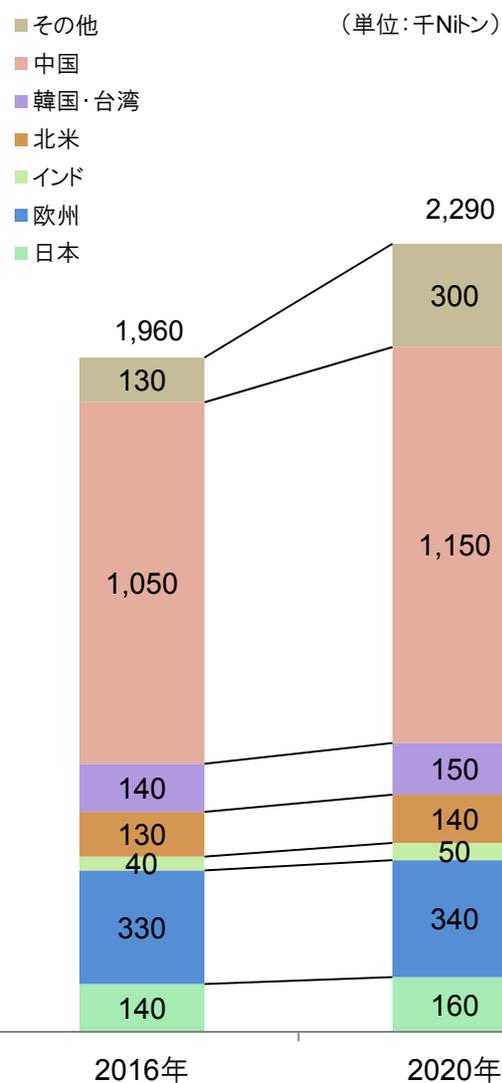


## 3. 地域別ステンレス生産・ニッケル需給見通し

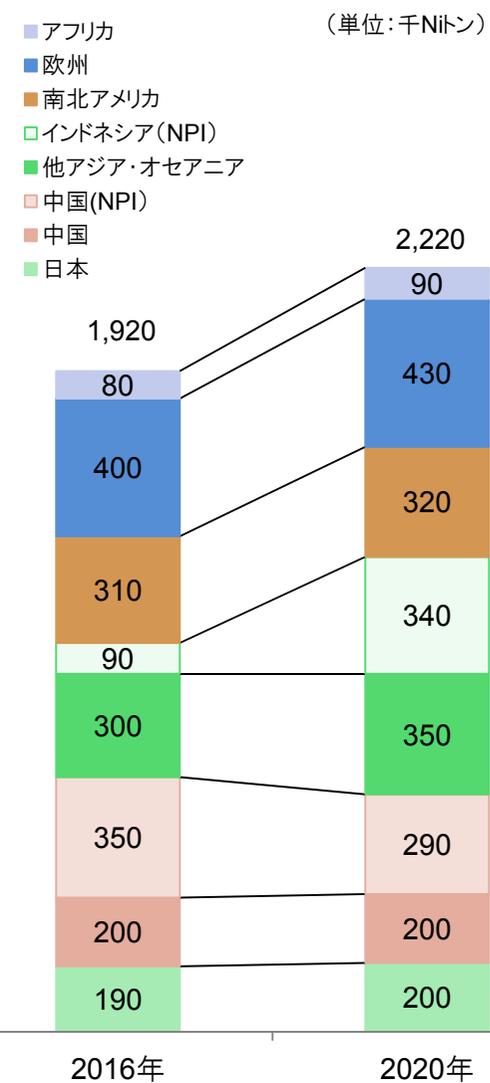
ステンレス生産見通し



ニッケル需要見通し

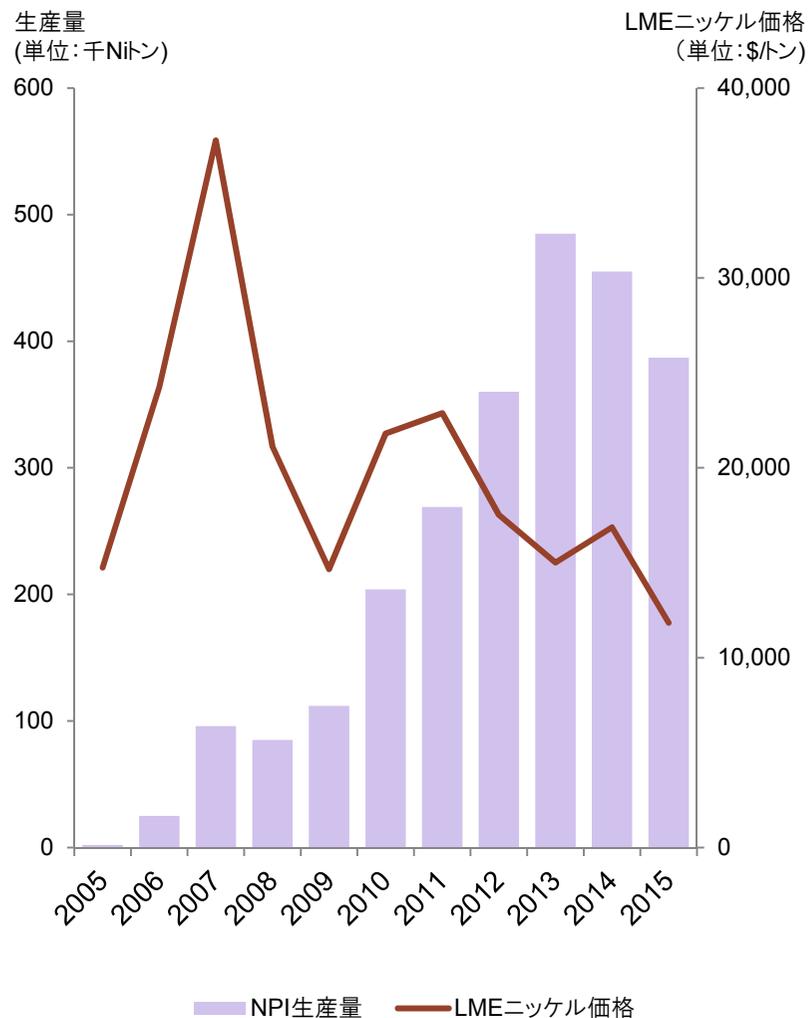


ニッケル供給見通し

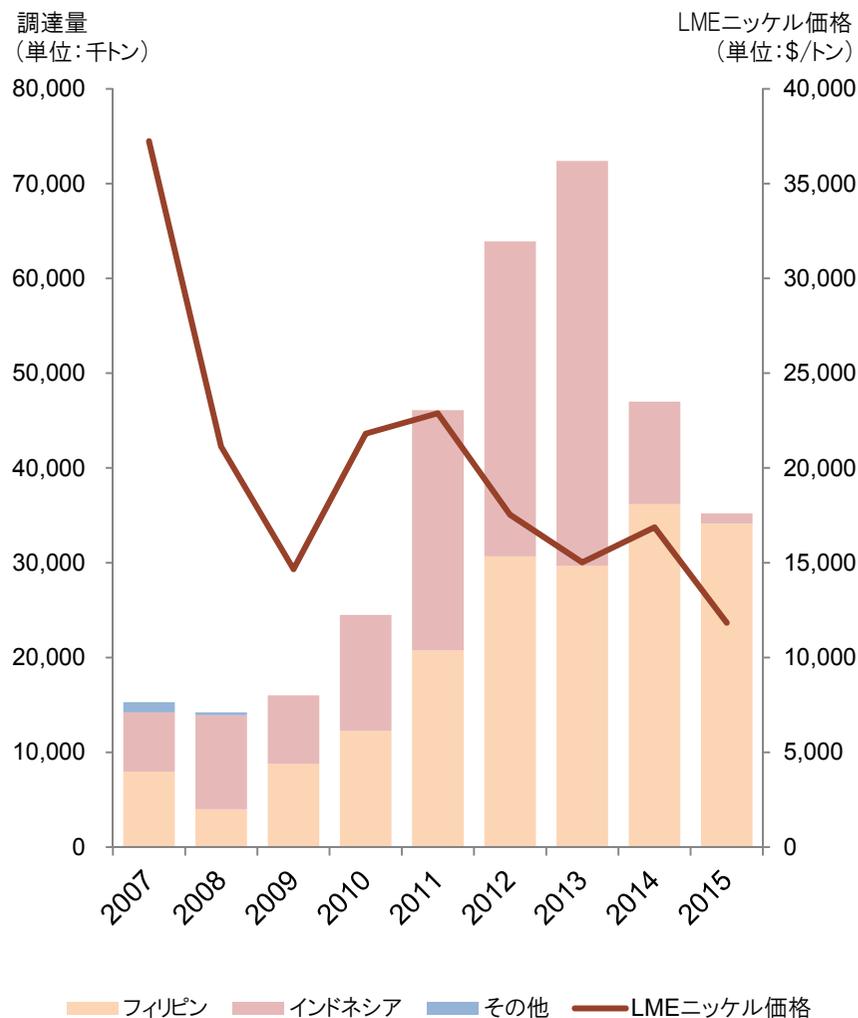


## 4. 中国NPI生産の動向

### 中国NPI生産量の推移



### 中国のNi鉱石調達量の推移



## Ⅲ 17.3期 通期見通し

## 1. 通期決算見通し

### 【概要】

(単位:百万円、%)

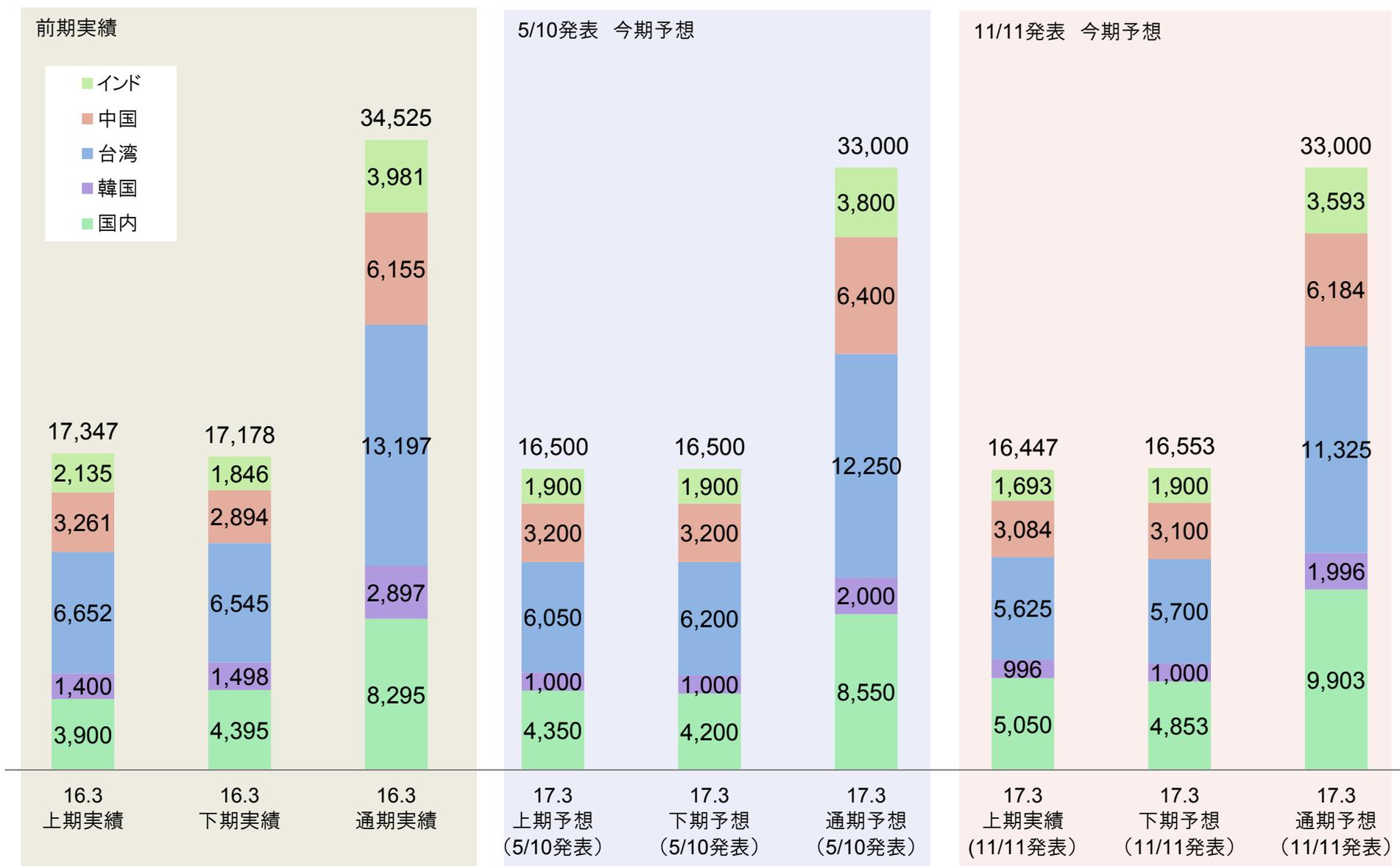
	16.3実績		17.3予想 (8/10発表)		17.3通期見通し (11/11発表)		対 前期比	対 8/10発表 予想比
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率		
売上高	47,649	—	37,499	—	36,643	—	△23.1	△2.3
営業利益	△15,358	△32.2	△5,706	△15.2	△5,054	△13.8	—	—
経常利益	△12,284	△25.8	△4,263	△11.4	△3,377	△9.2	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△38,370	△80.5	△4,990	△13.3	△3,999	△10.9	—	—
(投資額)	1,086	—	—	—	590	—	△45.7	—
(減価償却費)	5,538	—	—	—	377	—	△93.2	—

### 【ニッケル事業】

	16.3実績			17.3 予想 (8/10発表)	17.3通期見通し (11/11発表)			対 前期比 (単位:%)	対 8/10発表 予想比 (単位:%)
	上期	下期	通期		上期実績	下期予想	通期予想		
生産数量(Niトン)	18,357	18,335	36,692	32,915	16,425	15,971	32,396	△11.7	△1.6
販売数量(Niトン)	17,347	17,178	34,525	33,000	16,447	16,553	33,000	△4.4	0.0
適用LME(\$/トン)	12,302	9,259	10,803	9,678	9,193	10,340	9,766	△9.6	0.9
[適用LME(\$/lb)]	[ 5.58 ]	[ 4.20 ]	[ 4.90 ]	[ 4.39 ]	[ 4.17 ]	[ 4.69 ]	[ 4.43 ]		
適用為替(¥/\$)	120.91	119.02	119.97	109.65	107.18	104.22	105.70	△11.9	△3.6

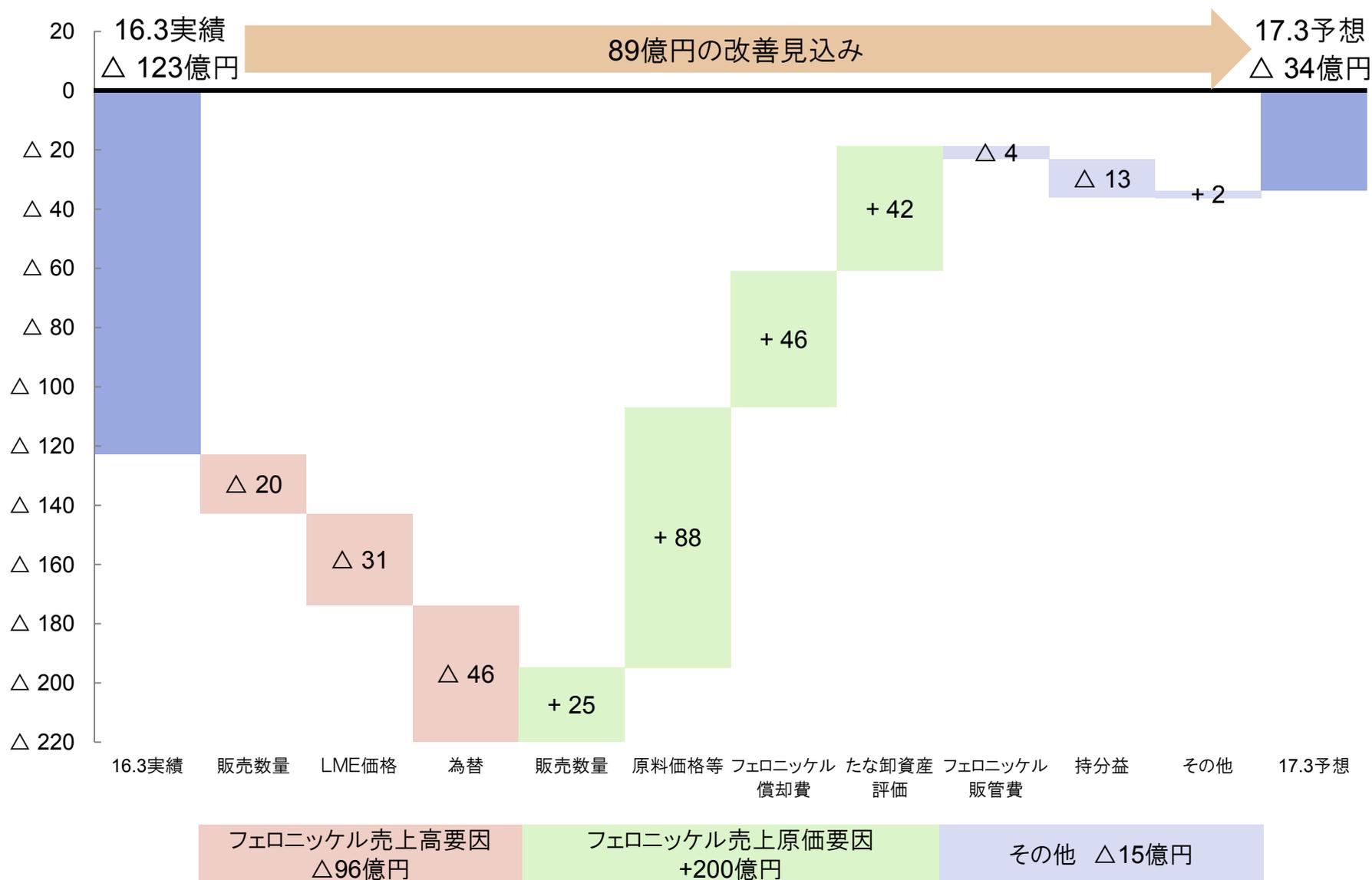
## 2. 国別販売見通し

(単位: Niトン)



## 3. 連結経常損益分析

(単位: 億円)



## IV 経営課題への取り組み

## 1. 中期経営計画「PAMCO-30」の活動状況①

### PAMCO-30の 主な重点施策

## フェロニッケルの生産・販売施策の強化

### 目標

- ・最適な生産量・販売量を設定し、収益構造の改善
- ・環境の変化に応じて機動的に対応できる体制づくりの整備

## 生産

### <コスト削減>

- ・鉱石品位低下傾向に応じた操業方法の確立
- ・乾燥効率改善等、高効率操業の実施
- ・消費電力削減、設備稼働時間・方法の見直し

### <最適生産、設備耐久>

- ・最適な生産量・生産性の増大を検討
- ・電気炉の長寿命化・高効率構造化の検討
- ・設備耐久性の向上

## 販売

### <販売活動、CS活動>

- ・市場立地の優位性を活かした販売活動
- ・より良い製品の供給、さらなる付加価値の創造・追求
- ・「顧客要望への対応」から「改善」へ
- ・CS活動の充実による顧客要望迅速対応体制の確立

### <機動的な販売政策>

- ・収益性改善のための最適販売数量
- ・物流コストの見直し、削減

## 1. 中期経営計画「PAMCO-30」の活動状況②

### PAMCO-30の 主な重点施策

#### 目標

## ニッケル資源調達安定化

- ・資源国との連携強化および確実な鉱石調達を行うための長期安定策検討・実施
- ・鉱石調達のトータルコストを見定め、新規ソースの開拓
- ・海外事業展開の基盤づくりのため、海外事業タスクフォースを立ち上げ、検討・評価を進める

### フィリピン

- ・鉱業環境規制厳格化による一部鉱山操業停止処分も、現時点で当社調達における大きな影響なし
- ・緊急対応が可能な体制を整備する

### ニューカレドニア

- ・資源ナショナリズムの影響があるものの、メインソースの一つとして調達量増量を進める

### インドネシア

- ・2014年1月以降、未加工鉱石輸出は再開されず
- ・今後も情報収集を継続

### 新規ソース

- ・鉱石価格の高止まりが継続しており、他エリアから調達する際の総調達コストを比較・検討
- ・既にテスト鉱石入荷済み（グアテマラ産）

ニッケル鉱石の安定調達へ

## 1. 中期経営計画「PAMCO-30」の活動状況③

### PAMCO-30の 主な重点施策

### 収益性の強化

目標

- ・物流コスト見直し、省エネ活動、乾燥効率アップ等の操業改善、投資・修繕予算の見直し・削減、設備寿命延長のための操業検討、その他諸費用の削減等
- ・これらの既存の踏み込んだ合理化をベースに、新しいアプローチも検討

### 販売・購買

- ・物流コストの合理化(段階別横持費用、積載率等アップ)
- ・たな卸資産の保管に関する管理体制見直し、強化

### 製造

- ・最適還元率等による高効率生産の追求
- ・設備稼働時間等の方法見直しによる電力コストの削減
- ・製品の高付加価値化の可能性追求

### 総コスト

- ・一般管理費他、諸経費の圧縮
- ・修繕サイクル見直し等による維持コストの削減

### 投資

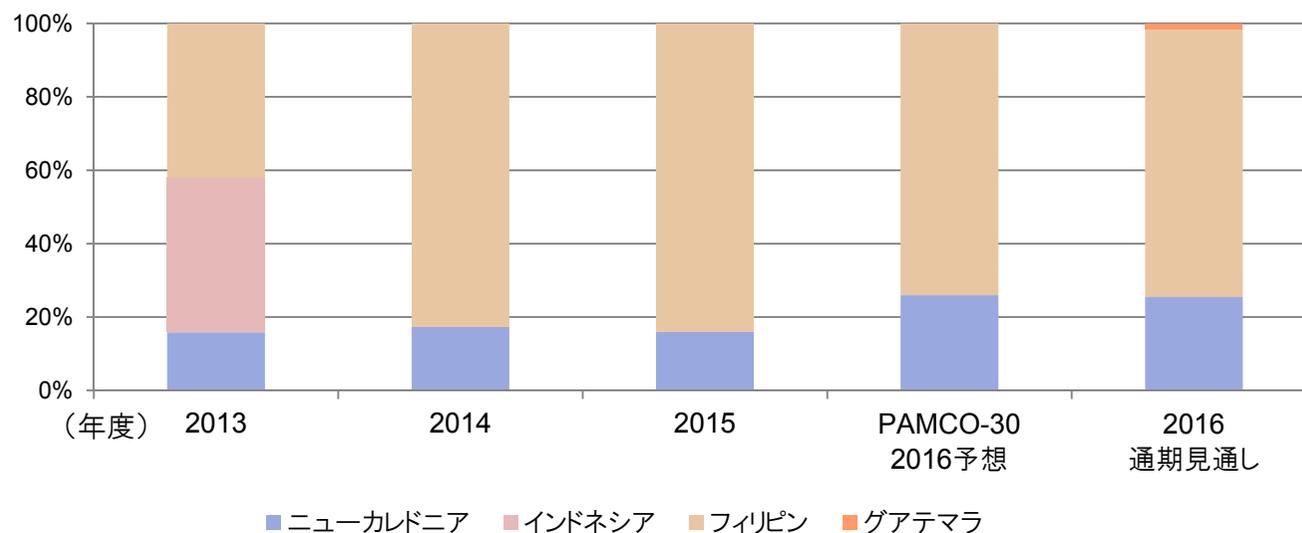
- ・法令順守に関するもの等、影響度合いを判断し、継続・削減・繰り延べの決定

## 収益構造の 新ステージへ

従来の観点にこだわらず、スピード感をもって推進するため、  
収益性強化を目指した《ワーキンググループ》を設置

## 2. 鉱石長期購入契約・調達割合の動向

購入先	16年 3月期	17年 3月期	18年 3月期	19年 3月期	20年 3月期
＜フィリピン＞ リオ・チバ・ニッケル社(36%出資)	2016年1月～2020年12月(5年間)				
＜フィリピン＞ タガニート社(33.5%出資)	2016年1月～2020年12月(5年間)				
＜フィリピン＞ カグジャナオ社	2016年1月～2020年12月(5年間)				
＜ニューカレドニア＞ モンタニア社	2016年4月～2026年3月(10年間)				
＜ニューカレドニア＞ MKM社	2014年1月～2023年12月(10年間)				



計画値		PAMCO-30 17.3計画	PAMCO-30 18.3計画	PAMCO-30 19.3計画
	生産数量(Niトン)	32,885	34,893	37,270
	販売数量(Niトン)	33,000	35,000	37,000
	適用LME(\$/トン)[\$/lb.]	9,722 [ 4.41 ]	12,037 [ 5.46 ]	14,132 [ 6.41 ]
	適用為替(¥/\$)	109.90	118.82	119.48
	売上高(百万円)	37,525	52,065	65,607
	営業利益(百万円)	△5,792	△1,800	2,541
	経常利益(百万円)	△4,181	552	5,964
	親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	△4,382	192	5,286
	投資額(百万円)	920	1,997	2,712
減価償却額(百万円)	394	409	559	

実績値(見通し値)		17.3通期見通し (11/11発表)	18.3実績	19.3実績
	生産数量(Niトン)	32,396		
	販売数量(Niトン)	33,000		
	適用LME(\$/トン)[\$/lb.]	9,766 [ 4.43 ]		
	適用為替(¥/\$)	105.70		
	売上高(百万円)	36,643		
	営業利益(百万円)	△5,054		
	経常利益(百万円)	△3,377		
	親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	△3,999		
	投資額(百万円)	590		
減価償却額(百万円)	377			


# 大平洋金属株式会社

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手された情報に基づくものであり、今後、発生する状況の変化により実際と異なる結果となることがあります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。

本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。